

○事業所名	放課後等デイサービスひまわり吉田校		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 20日		～ R8年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 5日		～ R8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの安全に十分配慮し、一人ひとりの特性に応じた支援を行っている。	活動場所は職員が目が行き届く配置とし、誤飲やケガの恐れがある物品は別室で管理している。また、子どもの状態や様子に応じて個別に対応し、安全に活動できる環境づくりを行っている。	定期的に職員間で意見交換を行い、子ども理解を深めることで、より質の高い支援の提供につなげていく。
2	職員間で日々情報共有を行い、子ども一人ひとりに一貫した支援を提供している。	定期的なカンファレンスに加え、日々の支援後にも子どもの様子や気づきを職員間で共有し、その日のうちに対応を確認している。また、意見を伝えやすい雰囲気づくりを意識し、日常的なコミュニケーションを大切にしている。	研修等の機会を通して職員一人ひとりの専門性を高め、チーム全体で支援の質の向上を図っていく。
3	地域資源を活用し、子どもたちが身近な環境の中で多様な経験ができる支援を行っている。	近隣の体育センターや図書館、公園、スーパーなどを日常的な活動に取り入れ、運動や学習、社会体験の機会を提供している。子どもたちが無理なく参加できるよう、活動内容や移動方法にも配慮している。	今後も地域のイベントや施設に関する情報収集を行い、地域とのつながりを深めながら、より幅広い体験の機会を提供していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他児童や放課後児童クラブ等との交流機会が十分に確保できていない。	子どもの特性や安全確保を優先しているため、活動範囲が限定され、地域交流の機会が少なくなっている。	地域の行事やイベントの情報収集を行い、子どもたちが無理なく参加できる交流の機会を検討していく。
2	きょうだい児への支援や、きょうだい同士が交流できる機会を十分に設けられていない。	支援対象児への個別対応や安全配慮を優先しており、きょうだい児も含めた活動の企画まで十分に手が回っていない。	保護者の意向を把握しながら、行事や保護者会の機会を活用し、きょうだい児も参加できる交流の場を段階的に検討していく。
3			